令和五年度三学期修了式

一年が終わりました。みなさんにとって成長の一年であったと思います。四月の自分と比べ、どれほど成長したか振り返って下さい。

さて、昨年度の修了式で戦争について話しました。
ロシアとウクライナの戦いは続き、また、ガザ地区での戦闘も連日報道されています。

武力による制圧ではなく、互いに相手を尊重し、異なる意見を少しずつ歩み寄らせて私たちは国際社会を生きていかなくてはなりません。国際社会というと遠い世界と思うかもしれませんが、学校生活もおなじです。力による威圧、制圧では苦しむ人、辛い人が必ず生じる。今、ここにいるすべての人が相手を尊重して、明るく生きることが大切なのです。全員が同じ価値観、同じ考えではありません。違いを受け入れることから始めて下さい。

「結局、意見の違う者がわかり合うことはないんだ。話し合いでは解決しない。理想論だ」と言われることがあります。

教育は理想を求めることです。私たちが目指すべき正しい社会を考える事なんです。理想と現実のギャップを埋めるために、私たちは学び、良い社会を作るために、自分の知恵を使う。

教育が、学校が理想を語らなくなる。語れなくなることこそが恐ろしい。自由に理想を語れるこの社会を、大切にして下さい。

全力で学んで下さい。今、ここで共に学び、成長できることの意味を考えて下さい。 多くの人と対話し、多くの本を通じて、過去に学んで下さい。知識を得て、論理的な思考を身につけて下さい。部活動や行事で異なる意見の人と、時には意見をぶつけ合い、時には相手の失敗を許して下さい。

その中で批判的判断力を磨き、正しい表現力、コミュニケーション能力を得、これから社会でどう生きていくか、どんな社会を作っていくのか考え続けて下さい。正解はありません。ゴールもありません。生涯、より高見をめざして、成長し続ける覚悟が必要です。これからの日本は皆さんが作っていくのです。

弘前中央高校での学びは、平和への力になります。

また、一年頑張りましょう